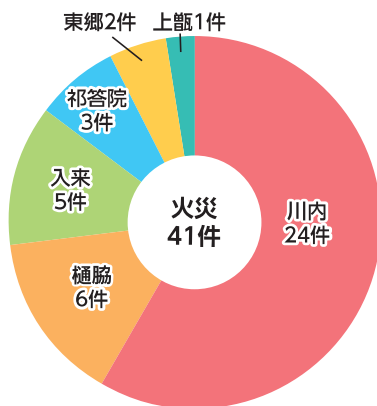
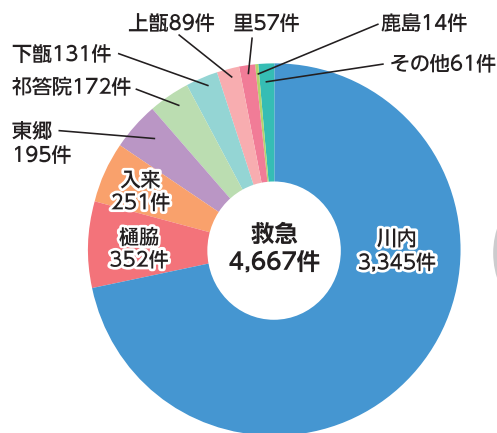
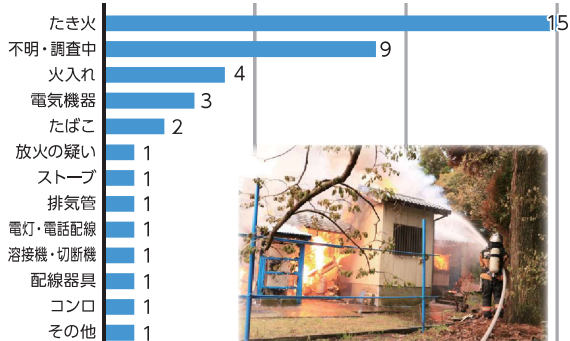


地域別
令和4年

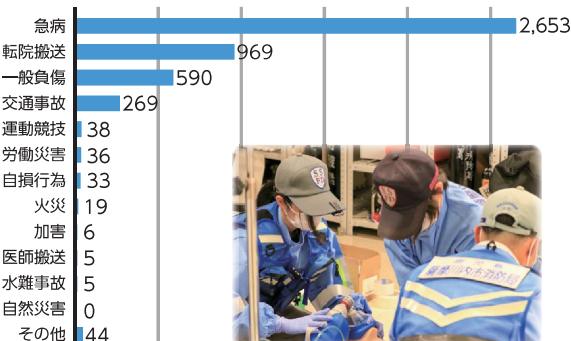
火災・救急統計

前年比
10件増前年比
623件増

出火原因別



救急事故別



火災は令和3年より10件増の41件で、およそ9日に1件の割合で発生しました。火災種別は、建物火災20件、林野火災2件、車両火災2件、その他火災17件で、出火原因は上のグラフのとおりとなっており、「たき火」が原因の火災が多くなっています。**たき火などの焼却行為は農作業に伴う軽微なものを除き、原則禁止されています。**また、**焼却行為に係る消防署への届け出は、火災の煙と間違わないようにするためのもので、焼却について許可**

するものではありません。

救急件数は令和3年より623件増の4,667件でした。およそ1日に13件の割合で発生したことになります。なお、搬送人員は4,143人で、令和3年より514人の増となりました。

大切な命を守るため、今後も救急車の適正利用をお願いします。

新救助工作車紹介!!



令和4年12月28日(水)に、新しい救助工作車を中央消防署へ配備しました。救助工作車は、火災で逃げ遅れた人や交通事故、海や川での水難事故など、あらゆる災害現場で助けを求めている人を救うための道具を200種類以上積載している救助専門の車です。

車両後部にクレーンを搭載し、側面には、本市を代表する祭りでもある「川内大綱引」の綱をモチーフとしたロゴマークが描かれています。